

**児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）**

公表：令和 6 年 5 月 1日

事業所名 児童サポートチーム あおぞらの木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・活動・クールダウンスペースと使い分けている	・指定基準に基づいたスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	6		・人員配置に基づき配置している。	・利用予定人数を把握し、職員配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	・外階段使用時は、先に注意喚起を行うなど配慮している。	・外階段は注意をしながら使用しており、室内は段差なく活動しやすい。活動内容を視覚でも確認できるようにボードに記入しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・子ども達も一緒に清掃をしたり、共に清潔を保っています。	・毎日の清掃を行い、清潔な空間を保持しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・職員全体で会議を行っている。	・実践後の記録をしっかり行い、評価等を職員全体で行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・保護者からの意見は職員全体で確認・周知を行っている。	・職員全体周知を行い、改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・ホームページ掲載後に連絡アプリや声掛けにて保護者へ通達している。	・ホームページにて評価を公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	・定期的に相談員や外部から意見を頂き改善に努めている	相談員等外部からの意見を素直に聞き入れ改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・外部講師やズーム等研修を行っている。	・外部研修や内部研修を行い常に支援の質を高めるように努めています。
支援計画	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・課題、ニーズを確認し職員全体で会議を行い作成している。	・モニタリングや面談を通してニーズや課題を確認し、計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・アセスメントシートを活用している。	・アセスメントツールの確認を周知徹底する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			・ガイドラインに則した支援内を個別支援に表記している。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・職員全体で計画を把握し支援を行っている。	個別支援に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・定期的に会議を開催している。	・いくつか案を出し、チームで内容も含め検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・活動名が同じでも内容を変えており、室内・外と幅広く活動している。	・月間予定を立案し、活動プログラムに変動をつけています。また、戸外活動なども計画して行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・児童の特性に応じて活動内容を工夫し計画している。	・一人一人の発達に応じ、個別の課題と集団適応、社会性の課題を支援計画に入れています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・支援開始前ミーティングでスケジュールの確認を行う。	・毎日ミーティングを行い確認している。子どもの状態や活動内容を話し合っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・必ず振り返りを行い情報を共有する。	・翌朝振り返りを行っている。 ・急を要する場合は当日行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・日々記録し、振り返りを行い支援に繋げています。	・毎回支援記録残しています。気になる点や課題があればその都度話し合っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・定期的にモニタリング、改善、見直しを行っている。	・状況に応じて見直しを行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・児発管が中心となり会議を行っている。	・児童発達支援管理責任者を中心に職員全体で会議を行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		・お迎え時や電話・対面にて連携している。	・幼稚園との連携を図っています。
関係機関や保護者との連携関係	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・該当児童の在籍なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・該当児童の在籍なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			・会議や口頭、書面にて提供している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			・会議や口頭、書面にて提供している。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・言語聴覚士や機関と連携して助言・研修をしています。	・言語聴覚士や外部講師を入れて助言や研修を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	・戸外活動、公園等での交流する機会はある。	・保育所や幼稚園に声をかけて交流しています。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	・直接参加はしていないが、会議録を参照している。	・直接参加できるようにしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳への記入、送迎時の申し送り等にて共通理解に努めている。	・日々の送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	2	・取り組めそうなプログラムから支援を行っています。	・一貫したプログラムを検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時やその都度、説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・基本活動を組み合わせている。	・ガイドラインに基づく支援内容を記載し、保護者から同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・日頃から相談しやすい環境を整えています。	・直接助言を行ったり、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	・少人数での交流を行っています。	・保護者と一緒に行うレクや運動会など計画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・相談や申し入れがあった場合、状況を確認し電話や面談にて即対応している。
保護者 への 説明 責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・活動の様子、行事予定を発信している。	・あおぞらだよりや連絡帳、メールにて発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			・鍵付きの保管庫に保管している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・特性に配慮し、伝達の工夫をしている。	・日々の様子を連絡帳やSNSを通して発信している。 ・送迎時に申し送り等にて保護者との連携している。

	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	・季節の行事にて交流をしています。	・近くの事業所や地域の方との関わりを大切にしています。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・連絡帳やあおぞらだよりにて訓練実施を発信して周知に努めます。	・訓練後は連絡帳やあおぞらだより・SNS等で報告を行っています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・火災訓練・地震・津波の訓練を行っています。年に2回実施
非常時等の対応	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6		・服薬は服薬依頼書に記入して安全に努めています。	・保護者記入のアセスメントにて把握しています。 ・必要に応じて聞き取りを行っています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・保護者に聞き取りを行っています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・記録を残し職員間で共有している。	・報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有し事故防止に努めています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・社内研修や外部研修を行っている。	・研修内容を周知し、日々の支援に努めている。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	・担当職員を決め、その他の職員は客観的に見て全体で検討・評価を行っている。	・保護者へ十分に説明を行い、共通理解した上で同意書にサインを得ています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。